

平成 22 年度 全日本学生柔道優勝大会（男子 59 回 女子 19 回） 大会要項

- 1、大会名 平成 22 年度 全日本学生柔道優勝大会（男子 59 回 女子 19 回）
 2、主催 (社)全日本学生柔道連盟・毎日新聞社
 3、主管 東京学生柔道連盟
 4、後援 文部科学省、東京都、(財)日本武道館、(財)講道館、(財)全日本柔道連盟、(財)東京都柔道連盟
 5、期間 平成 22 年 6 月 26 日(土) 女子 3 人制、女子 5 人制、男子 1 回戦
 開場：8 時 00 分 女子オープニング：9 時 00 分 試合開始：9 時 30 分 男子オープニング：15 時 30 分
 平成 22 年 6 月 27 日(日) 男子 2 回戦～決勝戦
 開場：8 時 00 分 試合開始：9 時 00 分
 6、会場 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園 2-3
 7、競技規則 (1) 参加資格

(社)全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ、(財)全日本柔道連盟に登録した者。
 国公立大学又は短期大学などに在籍の学生。
 各地区学生柔道連盟から推薦された大学。
 在学中、実業団その他の職域チームに属し、その試合に出場していない者。
 本大会への選手登録回数が 4 回以下の者(但し医学部、歯学部、獣医学部の学生は 6 回以下の者)

(2) チーム編成

男子：1 大学 1 チームとし、部長 1 名、監督 1 名、コーチ 1 名、主務 1 名、選手 12 名の計 16 名以内とする。
 女子：1 大学 1 チームとし、5 人制は部長、監督、コーチ、主務各 1 名と選手 57 kg 以下 3 名・70 kg 以下 3 名〔57 kg 以下申込可〕無差別 2 名の 8 名以内とする。3 人制は部長、監督、コーチ、主務各 1 名と選手 6 名以内とする。

(3) 試合方法

男子：試合は各チーム 7 名の点取り式によるトーナメント戦で行い、各試合の選手配列は自由とする。
 女子 5 人制：5 名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手の配列は先鋒・次鋒は体重 57 kg 以下、中堅・副将は 70 kg 以下、大將は無差別とする。
 女子 3 人制：3 名の点取り式によるトーナメント戦とし、体重無差別、選手の配列は自由とする。
 1 回戦のオーダーは女子が 8 時 30 分まで、男子は 13 時 30 分までにオーダー受付まで提出。
 また男子 2 回戦のオーダーは 2 日目の 8 時 30 分までに提出する事。女子 2 回戦、男子 3 回戦以降は対戦校決定後 5 分以内に提出する事。5 分経過後は自動的に前回戦のオーダーとする。

(4) 審判規定

国際柔道連盟試合審判規定による。
 判定基準は、「有効」又は「指導 2」以上とする。
 チーム間の勝負の決定は、勝者の多いほうを勝ちとし、勝者同数の場合は内容差で決定する。
 全て同一の場合は、男子並びに女子 3 人制では代表者 1 名を自由選出し、代表戦を行う（有効・指導 2 以上）。
 延長戦の場合は、ゴールデンスコア方式にて必ず勝敗を決定する。ただし両者失格等で勝敗がつかなかった場合は他の残りの中から自由選出し再試合を行い、必ず勝敗を決定する。
 女子 5 人制では引き分けた階級の中から 1 組を抽選しゴールデンスコア方式にて代表戦を行い、必ず勝敗を決定する（有効・指導 2 以上）。ただし両者失格等で勝敗がつかなかった場合は他の残りの中から再抽選し、試合を行い必ず勝敗を決定する。なお、引分の階級がない場合においては、両者反則負け等で勝敗が決まらない階級の中から、1 組を抽選しゴールデンスコア方式にて、必ず勝敗を決定する。

(5) ゼッケン 出場選手は必ず所定のゼッケンを柔道衣につけること。（詳細は別紙）

(6) 紅白帯 紅白帯は試合に出場する人数分を各大学ごと用意すること。

8、各地区出場枠

《男子》 参加校は 62 校とし、各地区の出場校は次の通りとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	9	18	4	9	4	6	62

《女子》 各地区の出場校は次の通りとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	12	13	5	8	6	6	62+2

上記の数は 5 人制、3 人制のトータル数とし、どちらに出場するかは各地区学生柔道連盟にて決定する。但し、5 人制 3 人制ともに前年度優勝校は主催者推薦とし各地区枠外とする。

- 9、選手計量 女子5人制出場校の先鋒・次鋒・中堅・副将出場者は計量を行う。
場所：日本武道館地下2階西側ロッカー室
日時：平成22年6月26日(土) 予備計量6時30分～7時00分 本計量7時00分～7時30分
- 10、表彰 男子 (1)優勝校、準優勝校、第3位校(2校)並びにベスト8校を表彰する。
(2)優勝校には文部科学大臣賞並びに日本武道館賞を授与する。
(3)技能優秀選手：男子10名に優秀選手賞を授与する。
女子 (1)5人制・3人制ともに、優勝校、準優勝校、第3位校(2校)を表彰する。
(2)5人制・3人制ともに、技術優秀なる者、4名に優秀選手賞を授与する。
- 11、優秀選手選考委員 優秀選手選考委員は各地区の学生柔道連盟より1名とする。(ただし、原則として(社)全日本学生柔道連盟理事)
- 12、審判員 審判員数の総数は54名とし、各地区の学生柔道連盟は下記所定の人数の審判員を帯同することとする。
[(財)全日本柔道連盟派遣審判員6名以内(審判長含む) 東京19名、関東12名、関西10名、北信越3名、北海道、東北、東海、中国四国、九州は各2名]
- 13、参加申込 (1)申込先 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟
TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282
(2)申込締切日 平成22年5月25日(火)午後5時必着
(3)申込方法 参加申込責任者は各大学監督とし、下記の書類を必ず添付すること。
別紙所定の参加申込用紙
参加選手の在学証明書・健康診断書(地区予選に登録されなかった選手のみ)
学校紹介文
プログラム掲載用写真(詳細は別紙)
IDカード(詳細は別紙)
(4)参加費 男子 1大学30,000円 女子 5人制出場校：1大学20,000円 3人制出場校：1大学15,000円
各地区学生柔道連盟がその地区からの参加費を取りまとめて、5月24日(月)正午までに下記口座へ振込むこととし、振込が確認できない場合は本大会の参加は認めない。
参加費の振込は下記口座への振込みのみとする。大学からの振込は受け付けない。
振込先 三井住友銀行 小石川支店(普通)428679 (社)全日本学生柔道連盟 会長 佐藤 宣践
(5)選手変更 女子5人制においては、6月23日(水)17時までに必要な書類を添えて、主管事務局まで提出した者は変更を認める。ただし階級間の移動は認めない。
必要書類とは、変更用紙、怪我した者の事故証明書と変更選手の在学証明書、健康診断書、ID用写真のこと。
- 14、組み合わせ (社)全日本学生柔道連盟役員立ち合いのもと、東京学生柔道連盟により行われる。
日時：平成22年6月6日(日) 時間：午前10:00～ 会場：講道館新館2階教室 シード校：シード基準は別紙による
- 15、審判員会議 日時：平成22年6月26日(土) 時間：午前8:40～ 会場：日本武道館第三小道場
- 16、監督会議 日時：平成22年6月25日(金) 時間：午後5:00～ 会場：講道館新館2階教室
大会上の注意事項の伝達や、プログラムの配布をするので必ず参加すること。
なお、無断欠席した場合には出場を認められないことがあるので注意すること。また参加人数は各校1名とする。
- 17、安全対策 主催者は大会出場選手に対する傷害保険に必ず加入するとともに、救急指定病院の手配を行う。試合場に医師を配置し応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。大会当日、出場選手は必ず保険証(コピー不可)を持参すること。
- 18、練習会場 講道館にて6月25日(金)午後1時～4時、26日(土)午前10時～午後4時まで練習を行うことができる。
その際、別紙所定の用紙にて、5月25日(火)(参加申し込み時)までに主管事務局へ申し込むこと。
- 19、大会事務局 主催事務局 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館内 (社)全日本学生柔道連盟
TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960
主管事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内 東京学生柔道連盟
TEL 03-3213-7106 FAX 03-3287-3282
*質問・問い合わせ等は、すべて主管事務局(東京学生柔道連盟)に行うこと。
- 20、その他 《皮膚真菌症について》
皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もあります。